男子ホッケーU21日本代表チーム
2017 Oceania Challenge-Cup,Suva,Fiji

日　付	2017年12月16日　15:00～		
場　所	フィジー　・　スバ	天　候	雨
試　合	第5戦　決勝	通算結果	日本　5勝0敗

RESULT

Country					Country
日本 JAPAN	7	2 - 0	4 - 1	0 - 0	1 - 1	2	ニュージーランド NZ President's XI

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
30	1	野井　辰真(GK)			
✔	5	和田　吉広			
✔	6	井関　渉二			
✔	8	米田　一輝			
✔	13	高橋　洋介	1		
✔	18	為国　龍次		1	
✔	19	アーノルド　勇利(GK)			
✔	20	田村　陸			
8	22	藤島　来葵			
✔	26	金田　翼			
✔	27	野村　烈瑠			
9	28	的場　洸希			
✔	29	冨田　竜平			
✔	30	平井　一樹			
9	31	太田　匡亮			
Coach		朱　光珍			
Manager		長屋　恭一			
UMPIRE		HARRY HERHAGE			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
30	1	STEWART Gareth(GK)			
✔	2	BALL Aaron			
✔	3	MOORE Matthew			
	4	HURSTHOUSE Jason			
✔	5	THORNE Mark			
✔	6	WATTS Dion		1	
9	7	PAYNE Brendan			
6	8	GICHARD Cameron			
5	9	HEREWINI Jury			
✔	10	McATAMNEY Matthew		1	
✔	11	FOUHY Nathan			
✔	12	GILBERT Nathan			
9	13	CRACROFT-Wilson			
✔	14	WILSON Alec			
✔	15	RAINEY Joshua		1	
6	16	McNABB Aaron			
✔	17	GOLDSBURY Christopher			
✔	18	HAYDE William			
Coach		SUNJAY GANDA			
Manager		WADE MASON			
UMPIRE		LEO FITZGERALD			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	8	為国　龍次	PC	1－0
JPN	13	藤島　来葵	PC	2－0
JPN	19	和田　吉広	FG	3－0
JPN	23	野村　烈瑠	FG	4－0
NZ	25	THORME　MARK	FG	4－1

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	27	井関　渉二	PC	5－1
JPN	30	平井　一樹	FG	6－1
JPN	56	平井　一樹	PC	7－1
NZ	60	HEREWINI　JURY	FG	7－2

オセアニアチャレンジカップ決勝、日本対ニュージーランド戦は、ニュージーランドのセンターパスにより開始される。第1Q8分、左サイドのセンターリングにより、日本がこの日初めてのPCを獲得する。すると、#8田村のフリックシュートからのこぼれ球を#18為国が決め、日本が先制する。追いつきたいニュージーランドは12分、右サイドドリブル突破からPCを獲得するが、得点することが出来ない。その後もハーフプレスからのカウンター攻撃を仕掛ける日本は13分、再びPCを獲得すると、#9藤島のフリックシュートがGK右下に入り、スコアを2対0とする。第2Qに入っても、ニュージーランドゴールを攻め続ける日本は19分、自陣からインターセプトをすると、左サイドからの華麗な受け渡しによるGKとの1対1チャンスを#2和田が決め、3対0とする。また、23分、野村が左サイドドリブル突破からDF2人を交わし、豪快なシュートを決め、4対0とリードを4点にする。これ以上リードされたくないニュージーランドは25分、この日2本目のPCを獲得すると、ゴール前の混戦からリバウンドシュートを決め、スコアを4対1とし、反撃に出る。しかし、この日の日本の攻撃力を止めることはできない。日本は27分#6井関がPCからのフリックシュート・30分#30平井が左サイドの角度のないところから豪快なリバースシュートと、連続得点を挙げ、スコアを6対1とする。完全に試合の主導権を握った日本は3Qに入り、35分・39分・40分と3連続PCを獲得するが相手GKのファインセーブにより、追加点を奪うことができない。第4Qに入り、2点目を狙うニュージーランドは、53分この日3本目のPCを獲得するが、堅い日本のDFを崩すことができない。すると56分、日本がPCを獲得すると、#30平井のフリックシュートがGK左下に入り、スコアを7対1とする。このまま終われないニュージーランドは60分、カウンター攻撃によるチャンスをゴール前で冷静に決め、スコアを7対2とする。しかし、試合はそのまま終了となり、日本がオセアニアチャレンジカップの初代チャンピオンとなった。

日本	20	シュート数	8	ニュージーランド
	11	PC数	3	

校閲：男子U21ヘッドコーチ　長屋　恭一
記責：男子U21コーチ　朱　光珍